



メルズーガ・ラリー 2019 2輪&クワッド レギュレーション

メルズーガ・ラリー2019は ノートン・スポーツクラブ (NORTON SPORT CLUB) がグラン・マグレブオートモビルクラブ (the Club des Sport Mécaniques Grand Maghreb) とのコラボレーションにより ASOが2019年3月31日～4月5日まで実施するラリーである。

組織委員会

大会ディレクター Organisation Director	: THOMAS CERF MAYER
テクニカル&スポーツ・コーディネイター	: EDO MOSSI (エド・モッシ)
競技者連絡コーディネイター	: Nelly PAVEE (ネリー・パヴェ)
ロジスティック担当	: AMAR ATTIOUI (クリストフ・ピュジニエ)
セーフティ・コーディネイター	: SEBASTIEN FLUTE (フランシスコ・ロメロ)
Club SM Grand Maghreb 代表	: RAHMOUN CHAKIB
Norton Sport Club 代表	: FRANCOIS VUILLE

競技者が理解しやすいよう、レギュレーションは英語とスペイン語に翻訳されている。主催者の出す書類や追加事項などに解釈の相違が生じた場合は、フランス語の文書のみが適応される。

大会プロモーション及びオフィス

AMAURY SPORT ORGANISATION (A.S.O アモリー・スポーツ・オーガニゼーション)

40-42 Quai du Point du Jour, 92100 Boulogne-Billancourt FRANCE

Tel. 0033 (0) 1 41 33 14 60

メールアドレス : concurrents@dakar.com

Web : www.merzougarally.com

目 次

条項	項目	ページ
	オフィシャル・リスト	3
第 2 条	ステージ	3
第 3 条	2 輪&クワッド部門エントリー条件	4
第 4 条	カテゴリー	5
第 5 条	エントリー申込、エントリーフィ、キャンセル手数料	5
第 6 条	大会のキャンセル・延期、非開催	5
第 7 条	書類審査	5
第 8 条	車検	6
第 9 条	ID	6
第 10 条	ゼッケンとスポンサー・ステッカー	6
第 11 条	セキュリティ・グッズ	6
第 12 条	ブリーフィング	6
第 14 条	スタートの順番	6
第 15 条	オフィシャル・アイテナリー(公式ルート)	7
第 16 条	ロード・ブック、ナビゲーション	7
第 18 条	GPS 操作	8
第 19 条	GPS のロック解除	9
第 20 条	スピードコントロール・ゾーン	10
第 21 条	一般の車に注意する	10
第 22 条	人家の多い中の通過	11
第 23 条	航行距離	11
第 24 条	最大許容時間とタイムチェック	11
第 25 条	固定ペナルティとスポーティング・ペナルティ	11
第 26 条	事故とリタイヤ	12
第 27 条	コースのクローズ	13
第 28 条	順位	13
第 29 条	プライス・リスト	14
第 30 条	抗議	14
	アシスタンスに関する追加事項	15

オフィシャル・リスト

役 職	担当者
審判長 President of Jury	Daniel ABBE
第1審判 Jury	Robert Mentaverri
第2審判 Jury	Robert Mentaverri
コース・ディレクター	Virginia Gómez
テクニカル審議官	Daniel Esteban - Giuliano Airoldi
医療班長	AMS
環境担当	TBC
タイム担当	STK Sarl
RCO (競技者連絡担当官)	Gillian Dykes/Robert Mentaverri

第2条 ステージ

2019年3月30日 アシスタント・チームの承認、パドック・オープン

07h00 アシスタント・チームの承認

08h00 パドック・オープン、

2019年3月31日(日) 車検・書類審査、プロローグ

07h00 -14h00 書類審査

10h00 ロード・ブック勉強会

08h00 - 14h30 車検

15h00 ブリーフィング (ライダー、クルーは全員参加が義務)、ライダーのみ記念撮影

15h45 パルク・フェルメ オープン

16h00 2輪&クワッド 第1走者スタート

17h15 プロローグ 2輪&クワッド 第1走者スタート

2019年4月1日(月) 第1ステージ エルフード~エルフード

08h00 2輪&クワッド 第1走者スタート

09h45 SxS 第1走者スタート

18h30 ブリーフィング (ライダー、クルー)

19h00 GPS 勉強会

2019年4月2日(火) 第2ステージ エルフード~エルフード

07h00 2輪&クワッド 第1走者スタート

08h45 SxS 第1走者スタート

18h30 ブリーフィング (ライダー、クルー)

19h00 ナビゲーション勉強会

2019年4月3日(水) 第3ステージ エルフード～マラソンステージのビバーク

08h00 2輪&クワッド 第1走者スタート
09h45 SxS 第1走者スタート
18h30 ブリーフィング (ライダー、クルー)

2019年4月4日(水) 第4ステージ マラソンステージのビバーク～エルフード

07h00 2輪&クワッド 第1走者スタート
08h45 SxS 第1走者スタート
18h30 ブリーフィング (ライダー、クルー)
19h00 DAKAR TOUR

2019年4月5日(木) 第5ステージ エクストリーム GP

10h00 砂丘のグランプリ SxS トゥーケスタイル・一斉スタート
10h15 砂丘のグランプリ 2輪 トゥーケスタイル・一斉スタート
10h30 砂丘のグランプリ クワッド トゥーケスタイル・一斉スタート
10h45 砂丘のグランプリ KTM 790 ADVENTURE トゥーケスタイル・一斉スタート
13h00 ポディウム 2輪&クワッド
13h30 ポディウム SxS
20h00 Xaluca Hotel にて表彰式&カクテル

第3条 2輪&クワッド部門 エントリー条件

2輪&クワッド部門、KTM 790 Adventure に参加を希望する者は :

18歳以上、エントリーするマシンの容積に沿う運転免許証を所有していれば誰でも参加できる。

エントリーには以下のライセンスが必要。

- ・自国のモーターサイクル連盟(日本では MFJ) 発行の国際エンデューロ A 級ライセンス
- ・自国のモーターサイクル連盟(日本では JMF) 発行の国際レース参加許可証(単発、または年間)

主催者の組織委員会は、エントリー申込をしたライダーに対し、理由を示さずにライダーの登録を拒否する権利を有する。

限定参加台数 : 2輪&クワッド 100台、SxS 40台

SxS 部門のエントリー条件は (省略)

メルズーガ・ラリーの参加者は当レースにおけるリスクや困難を認識しておくべきである。また、参加者は主催者が設置している安全対策を認識し、この種のレースに相応の対策が講じらる必要性を十分理解しているべきである。参加者は当レースが危険を伴うものでありリスクがあることを認識し、自分自身および第三者に起こるいかなるダメージ・肉体的ダメージに対し、主催者、FMS,FRMM に対し責任を求めないという証書にサインする。

第4条 カテゴリー

4.1条 2019年大会では2輪、クワッド、SxSの3部門で実施される。

4.2条 クラス すべてのクラスでシリンダー数は自由

- ・ 2輪 “Rally” ”Enduro“ ”KTM 790 Adventure“ の3クラス
- ・ クワッド “Rally” ”Enduro“ の2クラス
- ・ SxS “Rally” ”Stock“ の2クラス

第5条 エントリー申込、エントリーフィ、キャンセル手数料

参加費、参加費の条件、エントリー申込はウェブサイトで購入可能。（日本語では別紙参照）

エントリー申込は参加費に規定されている期限に従ってASOに振り込む必要がある。

申込のキャンセルおよび返金要求は、書留郵便で主催者あてに郵送する。その際、振り込み用紙のコピーを添付する。

第6条 大会のキャンセル、延期、非開催

大会のスタートが何らかの理由で、特に以下の不可抗力な理由のために大会がキャンセルになることがある。

開催国の政府または道路管理当局の承認が受けられない、開催国に政治的混乱がありメルズーガ・ラリーの実施が不可能、解決不可能な乗船、あるいは下船できないなどの輸送船のトラブル…など。

こうした不可抗力な理由により大会が中止、非開催になった時には、主催者は受け取った参加費用を返金する。

また、延期になる場合には、主催者は決まり次第に競技者に受取証名付き書留で変更になる日程を連絡する。

日程変更によりレースに参加できない競技者は8日間以内に受取証名付き書き留めで参加不可、返金を申し出る。いずれにしても、参加者はいかなる種類の賠償金は受けることができない。

第7条 書類審査

メルズーガ・ラリーの書類審査は2019年3月31日(日) 07:00~14:00に本部のあるl' hôtel Xaluca de Erfoudで行われる。

各エントラントは、召喚状に記載された時間に会場に出頭する。

召喚時間に遅刻すると、1時間遅刻に対し10分、それ以降の遅刻は各1時間に対し30分のペナルティが科される。

必要書類をすべて間違いなく準備すること。

(オリジナル書類を提示する。コピーは不可、紛失・盗難証明書は無効)

- ・ ライセンス、参加許可証
- ・ 国内免許証
- ・ パスポート（残存期間 6か月以上）
- ・ 競技車が自分の所有でない場合には、所有者の使用許可証
- ・ 参加費の振込用紙（最終回振込分）
- ・ 車検証 または車両登録証明書（WW, WIは不可、臨時証明書は不可）
- ・ モロッコ国に有効な車両保険

第8条 車検

メルズーガ・ラリーの車検は2019年3月31日(日) 08:00~14:30にl' hôtel Xaluca de Erfoudで行われる。各参加者は、書類審査が終了してスタンプを受けた後、45分以内にマシンを車検担当官に提示する。マシンがイベントの基準に適合していない、またはテクニカル規定に沿わないものは、出発を拒否される。その場合、支払い済みのエントリー費用は返金されない。車検には競技に必要な付属品すべてを持参する。

第9条 ID

書類審査でパスするとID用ブレスレットが渡される。パドックや表彰式会場に入る時には入り口で提示する。参加者はIDブレスレットを紛失・破損しないよう責任を持って管理する。IDブレスレットを主催者から求められて提示できない時には、300€のペナルティが科される。

第10条 ゼッケンとスポンサー・スティッカー

書類審査でゼッケンとスポンサー・スティッカーが渡される。参加者は、競技車にこれらを貼付する十分なスペースを確保しておく必要がある。

スポンサー・スティッカー用に十分なスペースが無く、スポンサー広告買取りの時には1枚につき300€の罰金。スティッカーやゼッケンプレートを切り取ったり変形したりすることは禁止。違反するとペナルティ。位置についてはWebを参照のこと。

- ・1回目の違反 エントリー費の30%の罰金
- ・2度目の違反 失格

背中に貼るゼッケンは襟元から最大20cmの位置に貼付する。

第11条 セキュリティ・グッズ

書類審査の際、GPSとトラッキングの講習会が行われ、参加者全員の受講が義務付けられている。その場で装着する。

第12条 ブリーフィング

毎晩18:30からブリーフィングが本部のある l' hotel Xaluca de Erfoudのコンフェランス・ルームで行われる。全競技者およびクルーの参加が義務。

第14条 スタートの順番

14.1条 プロローグのスタート

2輪&クワッドのスタートはゼッケンNo.のリバース・スタート(番号の大きい者から走り始める)、30秒ごと。最後の10台は1分ごと。

SxSのスタートはゼッケン順で、各1分毎。

14.2条 第1ステージのスタート

2輪&クワッドのスタートはプロローグ順位のリバース・スタート(最後の順位のライダーから始まる)。

最初の10台は3分毎、11台目～20台目は2分毎、残りは30秒ごとのスタート。
2輪&クワッドの最終ライダーのスタート後、790 Adventuree のスタート。
最終790 Adventureeライダーの30分後SxSの最初のライダーがスタート。

14.3条 第2ステージ以降のステージのスタート

第2ステージ以降のスタートは前日のステージ順位の順。
2輪&クワッドのスタートは最初の10台は3分毎、11台目～20台目は2分毎、残りは30秒ごとのスタート。
最終ライダーのスタート後、790 Adventuree のスタート。
最終790 Adventureeライダーの30分後SxSの最初のライダーがスタート。

14.4条 リポジション（翌日のスタート順位の変更）

暫定総合順位・暫定暫定ステージ順位が15位に入った競技者は、翌日のスタート位置の変更(Reposition =再配置)を3回まで申し出ることができる。再配置の要請は、17:30までにライダー自身またはチーム・マネージャーがコースディレクターに提出する。再配置の返事はその夜のうちにもらえる。
初日のスタートおよび、マラソンステージの再配置のリクエストは受け付けない。

第15条 オフィシャル・アイテナリー（公式ルート）

- 1) 公式ルート(SSとリエゾン)は各ライダーに渡されたGPSにインストールされる。ウェイポイント(WPV, WPM, WPE, WPS, WPC, DZ, FZ, CP, CPLS)が番号順にロード・ブックに記載されており、競技者はこの順番通りに通過する。GPSにも順番通りにインストールされる。
- 2) 時にルートが変更になり、これら通過が義務付けられているウェイポイントも修整されることがある。その際、ビバークに到着後またはステージのスタート前に、GPSが自動的に変更される。修正されているかどうかライダーは責任を持って確認しなければならない。ライダーはその責任がある。
- 3) マラソンステージは2日間のレースである。それぞれが1ステージと見なされる。2日間のレースの間の夜は、ビバーク泊となり、外部からのアシスタンスは一切できない。
ライダーやクルーがマラソンステージでアシスタンスを受けると12時間のペナルティが科される。
マラソンステージのビバークに到着できず、泊まることができないライダーには6時間のペナルティが科される。

第16条 ロード・ブック、ナビゲーション

ラリーのコースは、ライダーに渡されるロード・ブックに記載されている。
ロード・ブックは踏査隊がコース設定、実走して標識やウェイポイント、kmなどを記載して作られる。カテゴリーごとにそれぞれロード・ブックが作成される。そして、大会前直前にコースをオープンする踏査隊がルートを走り込み、実際にロード・ブックどおりに走れるかどうか検証している。
ライダーはマシンに主催者から配布されたGPSを装着し、ウェイポイントをダウンロードしなければならない。

通過を義務付けられた二つのウェイポイントの間は、ロード・ブックに記載されているルートをできるだけ走行するようになる(推奨)。
ラリーのコースは、ロード・ブックが配布されるまで極秘とされる。

- 1) 全競技者はコースが記載されたロード・ブックを受け取る。競技者は通過が義務付けられているポイント(WPV, WPM, WPE, WPS, WPC, DZ, FZ, CP, CPLS)を順番に通過する。不通過はペナルティが科され、最悪失格もありうる。
- 2) ピストの上を走るSSやリエゾンのルートはロード・ブックに実線で描かれている。また道路のないオフロードを走るSSやリエゾンのルートは点線で描かれている。
- 3) 主催者のコース・オープン隊が通過し、ロード・ブックに修正が加えられる場合、毎晩18:00前にその日のステージのゴールTC(チェックポイント)で、修正が入ったものを渡されるか、ブリーフィングの時、またはマラソンステージのビバークで渡される。
- 4) 路面は風などによって目まぐるしく変化することがあり、ライダーはいかなる場合でも、路面の状況に適応した走行をしなければならない。コースのタイプがSS,リエゾン、オフロードなど、どのようであっても常に最大限の注意が必要である。

ナビゲーションに必要なもの

- 1) STELLA EVO. GPS : 主催者の指定業者が提供するもので、全員単一モデルを使用する。取付方法は www.anube.es を参照する。GPSは各ライダーごとにシリアル番号が割り当てられ、勝手に交換することはできない。他のライダーのGPSと交換したりするとペナルティ、最悪失格もある。
- 2) トリップメータ (GPSからのトリップは禁止)
- 3) 電動式ロード・ブック・ホルダー (2輪/クワッド、KTM 790 Adventure 参加者のみ)

重要!

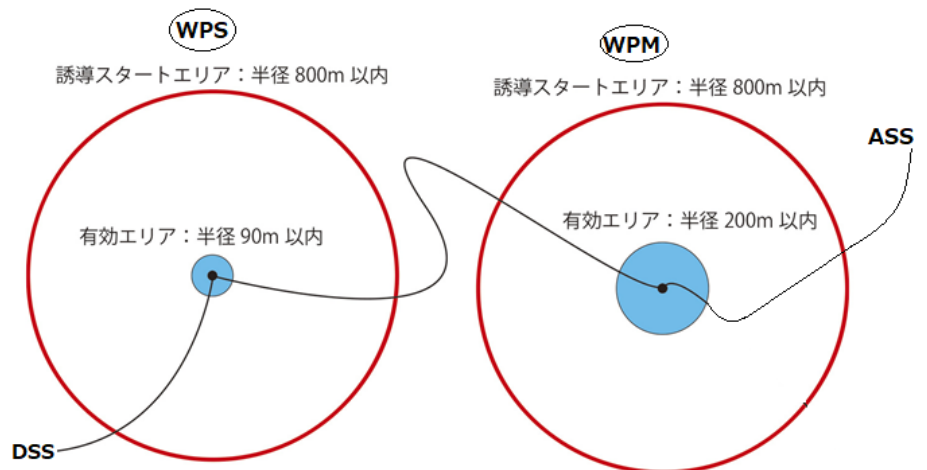
ナビゲーション・システムとデバイスはどのようなタイプであれ、大会で使用するには厳密に規制されており、特にGPSは規定品以外の使用は厳禁。当大会で認可されていないデバイスの持ち込み、使用は禁止されており、失格となる。

第18条 GPS操作

18.1 条 GPS

- 1) GPS に使われているウェイポイントは :
Control (WPC)、Visible (WPV)、Hidden (WPM)、Safety (WPS) 、Eclipse (WPE) 。

ナビゲーションルールを満たすために、WPSとWPMは以下に定義されている原則に従って動作する。



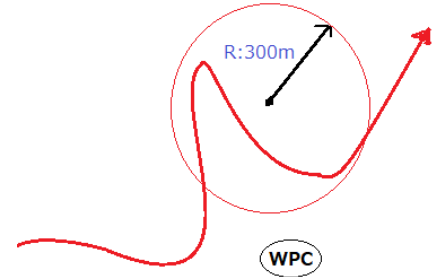
- 2) 2つのWPMまたはWPSの間では、GPSにはコンパスの方位と速度しか表示されない。マシンがWPMかWPSの半径800mまたは3km以内に入ると、GPSはCOG (Cap over Ground), SOG (Speed over Ground), CTW (Cap to Waypoint) 、DTW (Distance to Way Point)など、GPS通常の表示をし始める。

手前のWPを通過すると、WPEのすべての情報がGPSの画面に表示される。

ライダーが手前のWPでValideしなくても、WPEの周囲3km以内に入ると、GPS画面に情報が表示される。

- 2) WPCはGPSからの情報が通過番号と順番以外のナビゲーション情報が供給されることなく、ロード・ブックどおりに進んでいるかを示すWPである。

(例えば: K58はロード・ブックのkm58,00~km58,99に位置しているという意味)、検証の半径は300m。



ライダーはGPS画面から以下が有効になったことが確認できる:

- ・ GPSのメイン・ナビゲーションページのスイッチを押すと、コントロール・ウェイポイントから次のウェイポイントへの切り替わる。
- ・ 通過してきたウェイポイントの数をカウンターに入力する
- ・ チェック・ページで、灰色の文字で数字が表示される。

- 3) ウェイポイントは順番どおりに通過しなければならない。WPを順番通りに通過しない場合、GPSはその後のコンパス方位と速度しか表示しない。しかし、ライダーは“W+”または“W-”キーを使用してGPSを別のWPTにアライメントさせることができる。

18.2 条 WPを通過しなかった時のペナルティ

- 1) 不通過ペナルティ表はロード・ブックにWP(WPV, WPM, WPE, WPS, WPC, DZ, FZ, CP, CPLs, TC)に記されている。公式行程の順番どおりに通過しないと、(たとえ連続WPミスでないとしても、続けてWPを不通過するとショートカット・認可されていないコースを通過したとみなされ)ステージのプロフィールと不通過したkmによりペナルティが科され、最悪失格もありうる。

(コースを直前に試走する)オープニング・チームによってWPTが追加になる時、WPTの数とそれに対するペナルティを示す新しいリストが公式掲示板に掲載される。

- 2) 実走したルートを検証するのに、タイムカードをチェックする他、GPSのデータをチェックして実際に通過したかどうかを確認する。
- 3) 競技コースでゴールにたどり着けないライダーやクルーを救済する為、パラレル・ウェイ(平行ルート)が設置されている。これはライダーらがステージのゴールに到着するための、競技コースとは別の公式のコースである。このルートを使用するとペナルティが科される。ペナルティは行程スケジュール(Timing)に記載されている。

第19条 GPSのロック解除

セキュリティ上の理由により、ライダーは特定コード《WPM》を入力するとGPSのロックを解除できる:

《WPM》コードは、ライダーがPC(レース管制塔)と連絡して教えてもらえるコードで、いつもの使用どおりにGPSが立ち上がり、すべてのWayポイントが表示される。

このロック解除のコードを使用すると、次のペナルティが科される。

- ・ 1回目~3回目 : A1回につき6時間のペナルティ
- ・ 4回目の使用は、全ライダーが失格。

第20条 スピードコントロール・ゾーン

20.1条 定義

1) **コントロールゾーンの開始** : スピードコントロール・ゾーンの始点はロード・ブックにDZと表記される。GPSにはWPS (WayPoint Security) か WPE (WayPoint Eclipse)と表記される。

ライダーとマシンは、半径90mを通過しなければならない。DZおよびWPTを不通過だとペナルティが科される。(WPSの場合、この点から3 km以内に入るとGPSが作動し、DTW、CTW、矢印が現れ、ライダーを目指すポイントに誘導してくれる。

・このGPSポイントの90m手前で、ライダーはGPSによって自分がコントロールゾーンに接近していることを認識し、減速する。

・このGPS地点から90 m先は、コントロールゾーンに入る前の減速の緩衝領域(許容範囲)と見なされる。

2) スピードコントロール・ゾーン

WPに入ったことが有効になると、ライダーのGPS画面にコントロール・ゾーンが表示される。従って、ライダーはスピードコントロール・ゾーンに入ったのか、出たのか知らないとは言えない。

走行速度は、入り口と出口の間のルートがどのような状況であれ、30 km/h、50 km/h または 90 km/hに制限される。

3) コントロール・ゾーン の終点 FZ

スピード・コントロール・ゾーン出口はWPEであり、ロード・ブックにはFZという印で示される。

4) FZの周辺は90mの減速の緩衝領域(許容範囲)となる。

5) この地点からライダーはFZから再加速することができる。

6) スピード・コントロール・ゾーン出口(FZ)は通過が義務付けられているポイントで、ライダーはWPEから半径90m以内を通過する必要がある。

20.2条 コントロールの手順

1) 各ステージのゴール時にタイムチェックが行われる。ライダーは、TC(タイム・チェック)に到着すると、GPSをCHECKページにする。WPの不通過やスピード違反などをしていると、画面にその違反が表示される。

これらの違反情報はTCで自動的に担当官のPCに転送され、そこで担当官は違反の書類をライダーに差し出し、確認の上サインを求めてくる。そして担当官は1部をライダーに、1部をレース管理部に送ることになる。

2) サインを拒否したライダーには以下のペナルティが科される。

・ 1回目の拒否 : 1時間

・ 2回目の拒否 : 3時間

3) 言い渡された違反に対し抗議がある場合、ライダーはレース管理部から通達を受けた後の30分以内に書面で抗議文を提出する。ライダーの立ち合いの元に、GPS専任技術者が分析する為GPSをマシンから外し、報告書をレース管理部とライダーに提出する。

第21条 一般の車に注意する

ラリーレイドは一般の人々が通行しているルートを借りて走ることが多々ある。主催者はコースの安全の為に地元警察などと協力して最善を尽くしているが、競技者は一般道を走っていることを十分認識して走らなくてはならない。

第22条 人家の多い中の通過

SSであれ、リエゾンであれ、人家の多い村などを通過する時は、スピードは50km/hまたは30km/hに制限されている。そして、場所によっては地元の標識にそれ以下の速度制限が指示されていることがあるので、十分注意して走る。

第23条 航行距離

各ライダーは自分のマシンの航行距離を管理する責任がある。

地形の性質にかかわらず、いかなる状況においても、自分のマシンが最低120kmを走行できるようにする必要がある。航行距離が確保できないと主催者からスタートを拒否されることがある。

安全の為、+10%の航行距離が不可欠である。主催者は給油所を最大120kmごとに設置することになっている。

SSでは各給油所で15分の給油タイムが与えられ、その間タイムカウントがストップされる(このタイムカウントをしない区間をニュートラリゼーションと呼ぶ)。

給油タイムを終えてスタートするのに、早すぎても遅すぎてもいけない。違反者には1分に対し1分のペナルティが科される。

給油の際は、エンジンをストップさせ、ライダーがマシンを降りるか、離れて待つかする。主催者は燃料を地元のガソリンスタンドから仕入れたものを給油所で配給しているが、燃料品質について責任は負わない。

第24条 最大許容時間とタイムチェック

毎日ステージをスタートする時、ライダーはタイムカードを受け取る。タイムカードにはリエゾンやSSの割り当てられた時間、最大許容時間が記載されている。

ライダーは毎日ステージのゴールTC(チェックポイント)に着いたらこのタイムカードを担当官に渡し、翌日のタイムカードを受け取る。ライダーはタイムカードを紛失したり、破損したりしないよう管理する責任がある。

TC(チェックポイント)の場所はタイムカードに記載されている。リエゾンのTCゾーンの中では走行スピードが40km/hに制限されている。

TCへの到着は早すぎても遅すぎてもいけない。違反者には1分に対し1分のペナルティが科される。ステージの最後のTCだけはそのペナルティは無い。

タイムカードをTCで受け取らなかったり(受け取り忘れて)、もらい忘れてすると5分のペナルティ。

第25条 固定ペナルティとスポーティング・ペナルティ

固定ペナルティ(PF)とは、最大許容時間内に到着できなかった、特定のスポーツルールを守らない等の理由で適用される罰則。

スポーティング・ペナルティ(SP)は、ライダーの失格を避けるために設置されたペナルティで、スピード違反、ウェイポイントを通過しない、スポーツ行為の禁止、SSでのその他の違反に対して課されるペナルティである。

ステージのスタートTCやゴールTC、またはSSのTCを通過しないと固定ペナルティ(PF)が課される。1つのステージで最大2回までで、それ以上になると失格。

クローズされたTCに到着したら :

SSの中には安全上の理由でTCがクローズすることがある。ライダーは既にクローズしたTCに到着した時、それ以上ステージを続けることができず、ピバークに戻らなければならない。それについてのペナルティはウェイポイント(WP)のペナルティの欄に記載されている。

第26条 事故とリタイア

ART. 26.1 - 事故

- 1) ケガを伴う事故が発生した時には、可能な限り迅速に適切な救助を送ることができるよう、ライダーは最短時間でPCO(レース管制塔)に通知することが不可欠である。
- 2) ライダーが意識がはっきりして自分で連絡できる時には、トラッキン・システムの赤いボタンを押してPCO(レース管制塔)に事故があったことを知らせる。
- 3) 事故ったマシンが他のライダーたちに危険を及ぼす危惧がある時には、ライダーはマシンから50 m手前にヘルメットを置いて、他のライダーたちに警告する必要がある。この規則に違反したライダーは、国際審判から罰金を科せられる。
- 4) ケガ人のあるなしに関係なく、事故に巻き込まれたライダーは、国際審判から調査を受ける可能性がある。状況によっては、ペナルティが科されたり、場合によっては失格もありうる。

ART. 26. 2- 事故ったライダーに出会った時の対処

- 1) 事故に遭ったライダーや競技者に遭遇した時には、ライダーは当然のことながら人道的により適切な救助の手伝いをすべきである。救助が来るまでの時間を最短にすることも重要である。
- 2) 事故を目撃したライダーは、次の順序で他のライダーやパイロットに危険が及ぶのを避け、事故ったライダーをサポートする：
 - ・ まず止まる。
 - ・ トラッキン・システムの赤いボタンを押す。そしてPCO(レース管制塔)とGSMで連絡をとり、事故およびケガ人の様子を連絡する。
 - ・ 事故ったライダーに応急処置を施し、状況を聞く。
 - ・ 他のライダーまたは競技者がその場にやってくるのを待つ。
 - ・ 救助隊、または次のライダー/競技者が到着するのを待つ。
 - ・ トラッキン・システムの緑のボタンを押し、自分が立ち去ることを知らせる。
- 3) 事故ったライダーの為にストップした最初の2人だけは、赤いボタンを押してストップした時から緑のボタンを押してその場を立ち去るまでの合計停止時間が3分を超える場合、その日のSSから停車時間を差し引いてもらえる。その際、ライダーはステージのTC到着1時間以内にラリー管理部に差引の申請を行う。合計停止時間はSTELLAで確認・検証する。
- 4) この規定に違反したライダーは、国際審判からのペナルティの対象となる。

リタイアする時は、ライダーは主催者にあらゆる手段で最短時間で連絡することが不可欠である。リタイアの報告用紙は、スタートTC、CP、ゴールのTC、またはレース管理部で入手できる。用紙に記入・サインし、タイムカードを添えてオフィシャルに渡す。この安全と規律に関する重要な条項を遵守しないと、失格となる。

第27条 コースのクローズ

主催者のスウィーパー・カー(リタイアしたライダーを收拾しながらコースの最後尾を走る車、ダカール・ラリーではトラックが收拾して走るのでカミオン・バレーと呼ばれる)がロード・ブックに記載されているコースの最後尾を走り、この車が通ることをコースをクローズすると読んでいる。

当メルズーガ・ラリーではコースによってスウィーパー・カーが出動する。

スウィーパー・カーは、故障したり動けなくなったマシンやライダーをピックアップしてビバークまで輸送する。ライダーはスウィーパー・カーに乗ることを拒否することはできない。

スウィーパー・カーは可能な限り、故障したり動けなくなったマシンを運ぶよう努める。(しかし決してこれらマシンを運ぶことは義務ではない)。スウィーパー・カーはSxSは收拾しない。

注意! :ロード・ブックに記載されているように、スウィーパー・カーやその他主催者の関係車がSSコース外にあるマシンを回収することはない。コースが広大な地域では、ライダーが自らサバイバル・グッズ(緊急用ビーコン)を使って主催者に救助を求めなければならない。

主催者は当条に関する異議申し立ては受付ない。

第28条 順位

28.1条 一般規則

1) 競技者のタイム計測についてはコース・ディレクターが全責任を負う。

2) タイムペナルティは時間、分、秒単位で表記される。

クワッド部門、SxS 部門は、2輪のカテゴリーとは別に成績表が作られる。

総合順位は、プロローグのタイム、SSの実走タイムとペナルティタイム(SS中ばかりでなく、リエゾンやその他で受けたペナルティ・タイム全部)とを計算して決定する。その合計タイムが最も少ない競技者が優勝、次が2位……というようになる。

3) 競技者が同タイムの場合、最後のSSでタイムの良い方が上位になる。

それでも勝者が決まらない時には、その前のSSのタイム、その前の前の SS タイム……それでも決まらない時にはゼッケンの若い方となる。

当ルールはラリー中、常に適応される。

28.2条 リザルト (成績順位)

1) リザルト(成績順)の定義 :

a) SS の部分順位: 非公式、情報提供のみを目的とした配布(プレス、チームなど)。

b) SS 暫定順位: SS を行った日の 19:00 分にコース・ディレクターによって発表された SS の順位。掲示から 30 分後(抗議する時間)は正式順位となる。

c) ステージ暫定順位: ステージを行った日の 19:00 分にコース・ディレクターによって発表されたステージ順位。掲示から 30 分後(抗議する時間)は正式順位となる。

d) 暫定総合順位 : ステージを行った日の 19:00 分にコース・ディレクターによって発表された総合順位。掲示から 30 分後(抗議する時間)は最終正式順位となる。

e) 公式ステージ順位、公式総合順位は、抗議タイム終了時に、コース・ディレクターによって署名され、毎日国際審判長によって認可・署名される。

- 2) 毎晩19:00に、競技者リレーション・テントの前の公式掲示板に、上記の色々な順位表が張り出される。
- 3) 公式最終総合順位は公式掲示板に15:00以降に掲示される。掲示から30分後(抗議する時間)は最終正式順位となる。

28.3条 マラソンステージ

マラソンステージの初日の夕方にはスポーツ・ペナルティのみが適用される。

マラソンステージで発生したその他のペナルティは、マラソンステージの終了時に適用される。

第29条 プライス・リスト

2 輪	総合順位	優勝、準優勝、3 位
	RALLY 部門	優勝、準優勝、3 位
	ENDURO 部門	優勝、準優勝、3 位
	レディス 部門	優勝、準優勝、3 位
	KTM 790 ADVENTURE 部門	優勝、準優勝、3 位
クワッド	総合順位	優勝、準優勝、3 位
	RALLY 部門	優勝、準優勝、3 位
	ENDURO 部門	優勝、準優勝、3 位
	レディス 部門	優勝
SxS	総合順位	優勝、準優勝、3 位
	レディス 部門	優勝

“ROAD TO DAKAR” 賞

- ・ 2輪&クワッド部門 スクラッチ優勝者に対し “Top of the Top – ROAD TO DAKAR” DAKAR 2020への無料招待
- ・ 2輪&クワッド部門 ルーキー優勝者に対し “Rookie of the year – ROAD TO DAKAR” DAKAR 2020への無料招待
- ・ SxS部門 “Amazing crew”優勝者に対し – ROAD TO DAKAR” DAKAR 2020への無料招待
- ・ SxS部門 総合順位優勝者に対し MERZOUGA RALLY 2020 無料招待
- ・ 2輪&クワッド部門でメルズーガ・ラリーに参加したライダー全員に対し、ダカール・ラリー2020のエントリー費1000€
- ・ SxS部門 メルズーガ・ラリーに参加した競技者全員に対し、ダカール・ラリー2020のエントリー費1500€

追加

- ・ダカール・シリーズ・チャンピオンシップ、2輪&クワッド部門優勝者にDAKAR 2020への無料招待

* これら“ROAD TO DAKAR” プライスは、ダカール・ラリーに今まで出場したことのない者に限る。

第30条 抗議

順位などで納得できない時には、審判法に従って抗議を文書で提出する。抗議文は、期限以内に、コース・ディレクターにライダー本人から手渡されなければならない。(第3者からの提出は無効)。抗議文は1案件に対し1文書でなければならない、それぞれ660€の保証金を併せてに提出する。(懲戒および審判法の4.2条)。

アシスタンスに関する追加(ANNEX)事項

アイテナリー(ラリーの進行や時間を明記したスケジュール)に記載されている共有エリアやアシスタンス・エリアで、マシンのアシスタンス(調整・修理)をすることができる。

SSでは、下記に記載されているものを除いて、一切アシスタンスはできない。但し競技を続行中のライダーやクルー同士でアシスタンスするのはOK。

アシスタント・クルーは(アシスタント用)ロード・ブックに詳述されているアシスタンス・エリア以外で作業を行うことはできず、また移動はロード・ブック通りのルートを移動しなければならない。違反すると罰金、最悪関係ライダーが失格となる。ライダーは常にアシスタント・クルーとの動向に責任がある。

マラソンステージのアシスタンス

- 1) マラソンステージはアシスタント・カーとアシスタント・クルーからのサポートが受けられない連続2日間のステージである。競技を続行中のライダーやクルー同士でアシスタンスするのはOK。外部の者からのアシスタンスは厳禁。
- 2) ビバークに作業スペースが設置しており、ライダーは時間の制限無くマシンの作業ができる。
- 3) ライダーは主催者がセットしたビバークや作業スペースから自分自身もマシンも出ることができない。
- 4) ライダー同士でのエンジンを交換する時は、テクニカル審議官に事前に通知して許可をもらってから行う。両方のライダーにペナルティが科される。
- 5) 第4ステージでは、SSのゴールに到着した後、アシスタンスができる。
- 6) マラソンステージの前夜、競技者らはスペアタイヤのマーキング作業を行う。2輪のホイール&タイヤ各2本+スペア用と、クワッド&SxS用のホイール&タイヤ4本+スペア用を、マラソンステージ前日の17:00~20:00までオフィシャル・テントでマーキングしてもらう。
ライダーまたはアシスタント・クルーは、マークしてもらわれるべきホイール&タイヤを用意し、オフィシャルに差し出せるようにしておく。マラソンステージの2日間、マークのないホイール&タイヤと交換することはできない。
- 7) アシスタント・カーに登録した車両は、2019年4月3日の07:00~4月4日の14:00まで、ホテルXaluca de Erfoudにあるパドックに入れられることになる。

これらの規則に違反した場合、「無許可のアシスタンス」に対する罰金が適用される。ペナルティ表13を参照。

保険

第1条 - 民事責任

現行のフランスの道交法に従い、オートモバイル・スポーツイベントに対する保険に加入しなければならない。主催者は参加者にAXA FRANCEの特別賠償責任保険と提携しており、エントリー・フィに以下の範囲内で、対物・対人の保険料が含まれている。

- ・ 相手のマシン、物を壊した時 500,000€
- ・ 相手を死傷させた場合の治療費や慰謝料など €6,500,000
- ・ モロッコ国内で相手を死傷させた場合の治療費や最低の慰謝料。

この保険は、ラリー中に事故や火災、爆発が起きた時、金銭的な民事責任を保証する。

- ・ ラリーに係っている警察や兵隊・憲兵、一般市民、主催者関連のスタッフやオフィシャルなどにケガさせたりクルマ・物を壊した時、ライダーを保証する。
- ・ SSまたはリエゾンの中で他の競技者・競技車にケガや重大な損害をさせた時、ライダーを保証する。ただし一方の責任が明確に関与し、証明され、証明された場合に限る。
- ・ 一般公道を使ってSSまたはリエゾンを行っているときに事故が発生した場合、チーム・クルーがケガや死傷した時、ドライバーを保証する。但し、責任がドライバーにあると証明された場合に限る。

この保険は、下記を保証していないので、必要な場合各自、自国の保険に加入する。

- ・ 内戦または外交戦争による、ストライキ、暴動、または民衆運動による事故
- ・ 故意または詐欺的過失による事故の結果としての被保険者の責任。
- ・ 自損事故。
- ・ 罰金。
- ・ 車両、スペアパーツ、その他の物品の盗難。

保証期間

保険の保証期間は2019年3月31日の車検の招集時間から4月5日23時59分まで。

この保証期間外にモロッコに自走で入国した車両は、所有者が自国で必要な期間カバーする保険に加入する。

注意！ :事故が発生した場合、ライダーまたはその代理人は、24時間以内に、コース・ディレクターまたはRCO (競技者リレーション担当者)に書面で事故申告を行う。申告書には事故の状況と事故を証明する人の連絡先を記載する。

2019メルズーガ・ラリーに参加する競技者は、ラリー中起こりうるリスクを認識してエントリーする。

第2条 -アシスタンス・マシンの帰還

メルズーガ・ラリーに参加する競技者は欧州の大手保険会社Groupamaの子会社MUTUAIDEの保険に加入し、以下のサービスを受け取ることができる。(保険料はエントリー・フィに含まれている)

- ・ 事故などでケガをし、ラリーの医療チームの医師によりレース継続が不可能と断言された競技者や死亡した際の遺体のフランスまでの帰還。
 - ・ ケガをした際の入院費用、ケガをした参加者の家族の航空運賃。
 - ・ 裁判などの行政代行費
 - ・ 心理的トラウマになった際の治療費
- (以下 保険についての詳細、省略)